

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

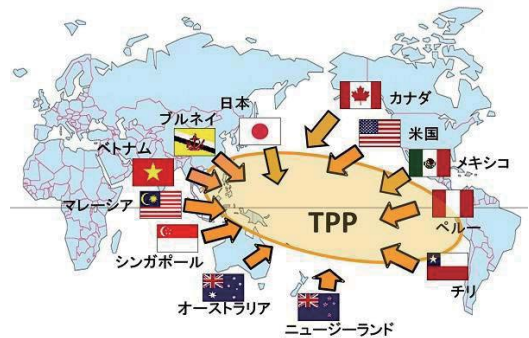
7/29 からハワイマウイ島の TPP 閣僚会議へ
「最終局面」「大筋合意」「政治決着」を演出



異様なまでに中身の見えない徹底した密室協議

TPP「秘密交渉」

世界経済の4割を占める自由市場経済圏形成に向けたグローバル化。
国民の生活に直接関わる食・医療・保険のことなのにまったく交渉内容が明らかにならない TPP 交渉。



情報を小出しにして目をそらす TPP 情報操作。
本当の利害はここにはない。

- 食（農産物）については、すでに世界の中でも低水準になっている「関税」のことがばかりが報道され、アメリカから要求されていた
 - ①食品添加物の承認拡大、
 - ②遺伝子組み換え食品の表示義務緩和、
 - ③残留農薬基準の緩和、
 - ④ポストハーベスト農薬の使用拡大
 - ⑤原産地証明の緩和
- 等についてどうなったのか国民にはまったく知らされない異様な状況。

まったく明らかにされない TPP 交渉内容

○「最終局面」を演出して政治決着へ。

7月29日（日本時間）からハワイマウイ島で TPP 閣僚会議が開催される。

日米二国間合意の連携プレーを先行させることで、ISDS 条項に難色を示すカナダを孤立化させて揺さぶり、オーストラリア・ニュージーランドも抑えていき、閣僚合意に持ち込もうとしている様子です。

この原稿を書いているのが 7/30 ですが、一向に情報・ニュースが流れてきません。

交渉の内容は産業界から国内農家、そして医療までさまざまな利害に関わり、食品規制などは私たち国民の生活に大きな影響を与えるにもかかわらず、情報はほとんど国民に明らかにされていません。

○「秘密保持契約」

TPP 参加には、鶴岡交渉官が「秘密保持契約」にサインすることからはじまっている。交渉参加国には「通常の通商交渉と異なり、極めて厳格な情報管理が求められる」（外務省幹部）。

○協定発効後も4年間秘匿

「秘密保持契約」には、交渉中にやりとりした書簡や提案などを協定発効から4年間秘匿しなければならないことが明記されているとのこと。協定の素案や交渉経過をまとめたテキストを読むのは、登録されたごく一部の交渉関係者に限られる。

○密室交渉

「通訳を交えずに進められる首席交渉官会合には原則、本人と代理の2人しか参加できない」という厳戒体制（日経新聞 7月24日付）。交渉官や補佐官は、携帯、メールなどを取り上げられて、一切の外部との連絡が出来ない部屋で交渉が行われる。



TPP 主席会合に出席する
鶴岡主席交渉官

○説明会開くも・・・

日本の交渉代表団は、経済団体などの利害関係者への説明会を開いたものの、内容はただひたすら、「TPPは他の通商交渉に増して秘密保持が厳しい」と言い訳に終始。参加に際して署名した守秘契約にしばられ、交渉文書や交渉内容はおろか、日本代表団自身が何を主張したのかも明らかにされていない。

○医療・保険分野はブラックボックス

TPP の最大の目的は日本の医療市場、保険市場の開放（国民皆保険を解体して米国らの医療企業・保険企業が日本に進出するため）とされていますが、こちらの情報はほとんど情報が漏れてきません。

○食についても肝心なことは秘密のまま

→次ページ



TPP 協定に伴う食の安全についての交渉内容はブラックボックス

常総生協では TPP について 2010 年 11 月に「**理事会見会と地域自給提携強化に関する決議**」をおこない、翌 2011 年 1 月からこのニュースレターで TPP の問題についての特集を 5 回にわたって行いましたが、3/7 発行のニュースのち震災・原発事故に遭い中断していました。

特集④「TPP と食」ではアメリカから要求されていた

- ①食品添加物の承認拡大
- ②遺伝子組み換え食品の表示義務緩和
- ③残留農薬基準の緩和
- ④ポストハーベスト農薬の使用拡大
- ⑤原産地証明の緩和

についてとりあげましたが、TPP 参加に至っては、この交渉内容はまったくと言っていいほど明らかにされていません。

〇目をそらす報道

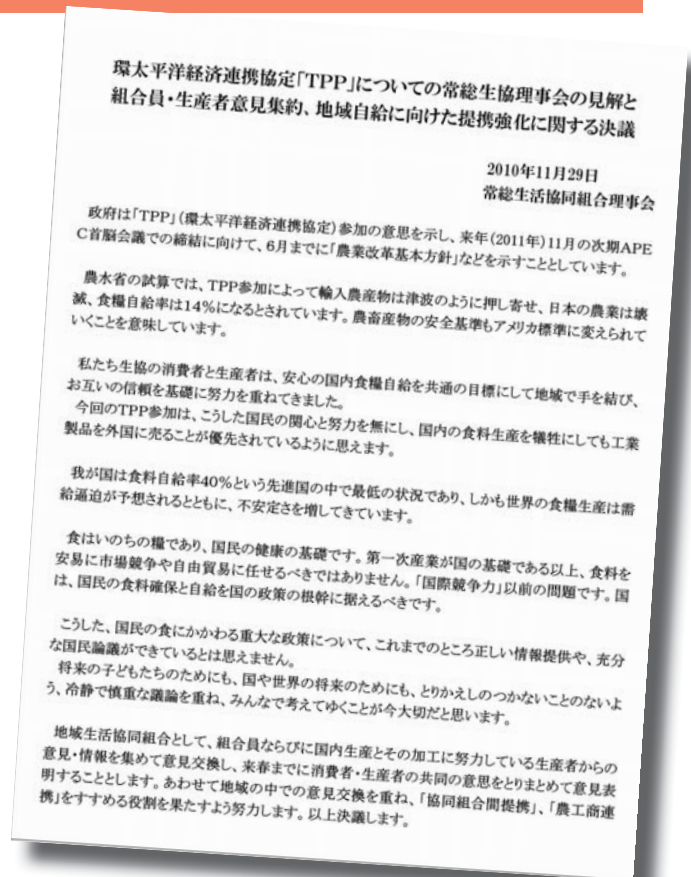
食・農産分野の情報は「関税」の攻防だけが情報として漏らされ、意図的に目をくらまされるものです。

1 面の日経新聞にしても、牛肉関税 38.5% が 9% に、豚肉はキロ当たり 482 円の関税が 50 円になるから「ハンバーグやソーセージなどに使われる低価格の豚モモ肉などの部位は約 4 割安く輸入され、消費者にも広く恩恵が及ぶ」などと報じられています。

〇すでに形骸化している農産関税

しかし関税が 482 円が 50 円に下がるというのはキロ当たり 64.53 円以下の豚肉で、それ以上の価格の豚肉は分岐点価格（ゲートプライス）キロ 524 円との差額が関税に、524 円以上で関税率 4.3% という「差額関税」という制度です。

しかし、バイヤーは高価格と低価格をミックスして仕入れており、合計で関税がかけられることから、平均輸入仕入価格は分岐点価格 500 円前後のため、事実上関税などすでにかかっています。



【2011 年 1～3 月ニュースレター TPP 特集】

- ① TPP 参加で食糧自給率は 14% に
- ② TPP と私たちの地域自給プロジェクト
- ③ TPP でどうなる医療～医療市場を外資民間資本に開放
- ④ TPP と食
- ⑤ TPP と国土の切り売り～外資による国土買収、水メジャーによる水資源買収

TPP 反対、JA グループ茨城と常総生協が国会前で座り込み

TPP 参加断固反対を訴えて東京・永田町の国会前で JA グループなどは今後、1 月 31 日までにわたって座り込みを続ける予定だ。11 月 1 日には JA グループ茨城と常総生協のメンバーが 2 日朝まで座り込み、参加反対を訴えた。

JA 茨城中央会の秋山豊専務は「与野党の反対議員にがんばってもらえない。とくに与党協議で止めてほしい。そのために何をやれば阻止できるか。農民の意見を直接国会議員に届けることや、集会に参加するなど、反対グループが結集することが大事だ」と話す。

常総生協の大石光伸副理事長は「大震災があり原発事故もあって、今、社会が混乱している。もっと落ち着いた地域のことや実際の生活者のことを優先的に考えるべきだ。TPP 推



2011 年 11 月、JA 茨城と常総生協による国会前座り込み（路上にて宿泊）

○輸入価格キロ 65 円以下の豚肉への関税が 482 円から 50 円に! ?

キロ 65 円の豚肉に対する関税が 482 円から 50 円になるなどと聞くと、スゴイことだと思われるかもしれませんが、実際には上記の通りミックス関税でぼろ儲けなのです。

アメリカにとってはキロ 524 円以上の豚肉の関税が 10 年で撤廃されることが何より重要であり、国内企業にとってみるとキロ 65 円以下の豚肉が公然と大量に 50 円程度の関税で輸入できるところにミソがあります。

○キロ 65 円以下の豚肉とは何か？

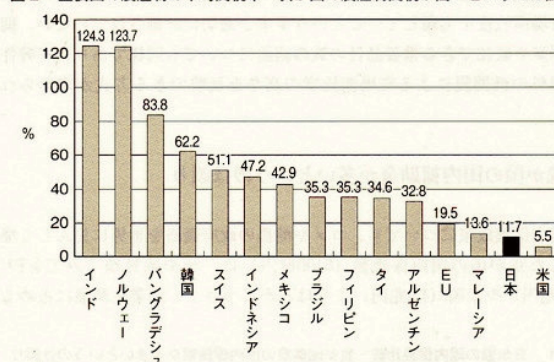
キロ 65 円以下の豚肉とはいったいどのような育て方をした豚肉でしょうか。TPP 締結となれば、これが今後公然と大量に日本に入ってくる。外食や加工食品のハンバーグやソーセージはおそらく値が下がるでしょうが、いったい私たちは何を食べさせられるかわかりません。

○世界でもっとも低水準関税国

いずれにしろ、日本の農産物関税は世界中でアメリカについて低い水準であって（下図）、アメリカの関税が低いのは世界の食糧消費国だからです。「関税が高い高い、日本は農業過保護だ」というのはまったくのデマ、というか情報宣伝の具に使われているだけです。日本の農産物はすでに市場開放されています。

一見、日本の農産物関税撤廃と日本産自動車部品へのアメリカ関税低減とがバスターであるかのように言われますが、農産物関税がたいした利益でない以上、裏で別な項目で日本が譲歩・取引しているはずですよ。

図2 主要国の農産物の平均関税率—我が国の農産物関税が高いというのは誤り



「協同組合」って何？ 賀川豊彦記念館（東京）にごいっしょしませんか

総代さん、組合員のみなさんへ！

8/22（土）みんなで賀川豊彦記念館にごいっしょしませんか！

先日の総代会の感想でも、総代さんから「総代会で“共同・協同”という言葉が繰り返し語られていましたが、30代後半の私には、どうしてもピンとこない言葉でした。」との感想を頂きました。

同様のことが、職員の中からもありましたので、理事会主催で組合員・職員でみんなで「20世紀の三大聖人」の一人（シュバイツァー、ガンジー、賀川豊彦）、「日本の協同組合の父」と言われる賀川豊彦を学ぼうと、賀川豊彦記念館・松沢資料館（東京都上北沢）をバスで訪問することとなりました。



松沢記念館（教会）

（日時）8月22日（土）10：00～14：20
 （場所）賀川豊彦記念館・松沢資料館
 東京都世田谷区上北沢 3-8-19
 （出発）生協本部8：30発 生協へ戻り 17:00 着
 ※現地に電車等で直接集合もOKです。お子さん連れもOKです。
 （賀川記念館にて）

- 映画鑑賞「賀川豊彦の生涯と協同組合思想」ほか
- 記念館内見学 案内：杉浦副館長
- 午後から1時間半ほど生協の秋の月間集会



賀川豊彦
 (1888-1960)